

西小は 大きな 家族

# Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年 7月 16日 (火) No.22  
発行人

アマゾンの大きな恐竜ぬいぐるみ欲しい川崎先生。5mのやつ(^\_^;)。

## ◆学校集会中島 t & 志村 t 7/3 (水) ◆

「中島 t」は熱中症の話。ちょうどこれからの季節、一番身近にある危険がこの熱中症。ざらざら太陽の下だけでなく、部屋の中でもプールでも起きると言う。頭がフラフラしたり、体に震えがきたりする。もし熱中症になってしまったら……。一番いいのは体を冷やすこと。近くに水道があれば、その水を使ってどんどん水をかけることが一番。もし冷やすものがなければ、日陰に連れて行き風を送って体を冷やすこと。まずは熱中症にならないことが一番だけど、なってしまったらみんなで助け合おう。

「志村 t」は自分の小学校時代の様子から、できなかったことが出来るようになった、そこにあるチャレンジの大切さを話してくれた。そして最後は縄跳びの実演。二重跳びからはやぶさ、そして三重跳び。いやぁ～すごいんでないかい。運動できない少年がこんなにまでできるようになるなんて。やっぱりチャレンジって大切だね。

## ●梅雨明けの雑感www●

- **ふふふっ**。4年生女の子。黙って手渡された一輪のタンポポ。どんな高価なものよりもうれしい。
- **ふふふっ**。2年生男の子。握った手から黙って渡された一匹のダンゴ虫。も、も、もちろん、う、う、うれしい。
- **ふふふっ**。6年生男の子。落ちてましたと手渡された 1 円。たった 1 円でも、それを拾って届けてくれる素直な心に感激。
- **へへへっ**。今日は送りの 1 年生女子お母さんに勝ち！思わず出るガッツポーズ。
- **おやおやっ**。またまた 4 年生女子お母さんとトラオアル遭遇。最近なんか遭遇が多い気がするんですけど。それだけ川崎がウロウロしてるってことか、(^。^)
- **おやおやっ**。小笠原を走っていたら後ろからピピッというクラクション。手を振る 1 年生男子とお母さん。あざーっす。(よく似た人をクオネコヤオトで見んですけど……)
- **関係ないけど**、若いころ夜の学校内をスキーブーツを履いて追いかけてこしたことがある(どことは言えない(^\_^))。ガンダムのようにガシャンガシャンと音を立てて追いかけてくる仲間から、ガシャンガシャンと逃げる。これがまた思うように走れなくて、なんとも興奮するんだなあ。ごめんなさい<(\_ \_)>もう時効ですね(^\_^)
- **関係ないけど**、地元の会合の帰り道。若者たち(そうは言ってもおじさんたちだけど)に両脇をがしっと抱えられながら玄関前まで送り届けられる。どうやら前回途中でコケたことを心配してくれたらしい。とほほ、多少酔っているとはいえ、これじゃまるでおじいちゃんじゃないかあ。
- **雨の日の朝**、長ぐつをはく。なんという安心感というか無敵感。子どもが水たまりを選んで歩きたくなるのがわかる。てか、自分も水たまりを選んで歩く。ビシャビシャ音をたてて歩くのが異様に楽しい。で、上記のガンダムごっこを思い出したわけです。
- **長休みの校庭から甲高いはしゃぎ声が聞こえる**。志村 t が子どもたちと一緒にドッチボールしているからだ。子どもって興奮する遊びが大好きだなあ。わあわあきゃあきゃあ大騒ぎ。そしてチャイムが鳴るとみんな玄関に向かって猛ダッシュ。あっという間にいなくなる。静けさが戻る。しばらく耳に余韻が残る。